

指定管理者運営評価シート

年度	令和2年度
担当課	スポーツ振興課

1 公の施設

施設名称	佐賀市健康運動センター
所在地	佐賀市高木瀬町大字長瀬2553番地
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積: 59,971.45㎡ ・建物面積: 4,769.23㎡(構造: 鉄筋コンクリート造、鉄骨造1階建(一部地階)) ・竣工: 平成16年5月10日 ・開館時間: 平日9時～21時30分、土日祝9時～21時(定休日 月曜及び年末年始) ・施設内容: プール(メインプール25m×7コース、可動床・流水プール、こども用プール、ジャグジー)、トレーニングルーム、スタジオ、多目的室、更衣室、浴室、多目的グラウンド、サッカー・ラグビー場(人工芝・天然芝)、ウォーキングコース

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	サガン・ドリームス/健康科学研究所/古賀商事 グループ	選定方法	公募
	所在地	福岡市中央区天神三丁目11番20号	利用料金制	導入
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日			
施設の運営・維持管理の業務	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の運営業務 施設全体のマネジメント等、施設の使用に関する業務(使用許可、利用料金の徴収業務等)、監視に関する業務、健康づくりに向けた運動指導・相談業務、市が行う健康づくり推進業務等 ○施設の管理業務 日常・定期清掃、緑地及び樹木の剪定、芝生維持管理、機械設備等の日常点検運転監視、保守点検業務等 			

3 施設の利用状況

利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績			
		令和元年度	平成2年度		
① 延べ利用者数	人	183,785	138,399		
② 1日平均利用者数	人	613	477		
③ "(障がい者)"	人	75	63		
④ "(高齢者)"	人	235	192		

4 指定管理者の収支状況

(単位:千円)

		令和元年度	平成2年度		
収入	指定管理料	167,649	169,187		
	利用料金収入	50,606	40,185		
	その他	2,275	10,565		
	計	220,530	219,937		
支出	支出	221,007	219,276		
	うち修繕費	9,788	9,073		
	うち人件費	124,874	126,226		

5 個別評価

◎評価基準

- A・・・要求水準を概ね満たしている
- B・・・要求水準を一部下回っている（改善が必要）
- C・・・要求水準を大幅に下回っている（相当程度の改善が必要）

	評価項目	評価の視点	評価
1	運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針、施設の設置目的等を的確に理解し運営されているか。 ・利用者が平等に利用できるよう適正な利用許可がなされているか。 	A
2	法令・協定書等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令、協定書等を遵守されているか。 ・労働法規等を遵守した適正な労働環境が確保されているか。 ・提案した事業計画の内容を適切に実施されているか。 	A
3	個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護条例を遵守し、利用者の個人情報の適正な管理が実施されているか。 	A
4	職員の配置および実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の配置、有資格者等の配置は適切であるか。 ・業務に対する研修等の必要な職員教育が行われているか。 	A
5	連絡調整	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営業務全般について、市への適切な報告・連絡等ができていますか。 	A
6	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全快適に施設を利用できるよう、建物・設備の保守や修繕、清掃等が適切に実施されているか。 	A
7	安全対策・危機管理対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の警備体制は適切であるか。 ・マニュアルの整備や関係機関との連絡体制の確立など、非常時・緊急時における必要な手立てが講じられているか。 	A
8	経理の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経理区分を明確にし、適正な経理処理が実施されているか。 ・収支計画と比較して大きな差異がないか。 ・必要な経費節減の取組が実施されているか。 	A
9	利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービス向上のための効果的な取組を実施できているか。 ・利用者ニーズや満足度などを把握する取組ができていますか。また、利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか。 ・利用者増加や利用率向上に向けた具体的な取組が実施されているか。 ・広報誌への掲載やチラシの作成など、有効な情報発信・PRの手立てが講じられているか。 	A
10	苦情、トラブル等対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情やトラブル等に対し適切かつ迅速な対応が行われているか。 	A

6 総合評価



A	<ul style="list-style-type: none"> ・健康運動館については、施設の設備や機器の老朽化が進む中、日々の点検及び必要な維持補修を行っており、更なる利用者サービス向上を図るために、新しい自主事業の展開を行うなど、積極的な取組みをされている。 ・サッカー・ラグビー場は、天然芝や人工芝の維持管理など専門的な技術が必要であるが、芝の維持管理を徹底することで、利用者からもレベルの高いグラウンドとして好評を得ている。 ・施設開館から17年以上たちながらも利用者数は伸び続けていたが、コロナ禍により大きく落ち込んでしまったため、感染対策を徹底した上で、新しい運動メニューなどの創意工夫により、まずは利用者数の回復に努めてほしい。 ・高齢者の割合の増加に対してはサポート体制を整えながら、今後も市民のスポーツや健康づくりの拠点として、利用者の視点に立った管理運営を行っていただきたい。
---	---